

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈中・社会〉

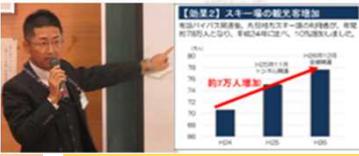
特別研修員 社会 遠峯 健一（中学校教諭）

単元名 『中国・四国地方』（第2学年） 全7時間計画  
単元のねらい

中国・四国地方の地域的特色について、交通網の整備・拡大と産業・生活の変化に関する資料を読み取り、地域的特色の変容について考える活動を通して、交通網による結び付きと地域的特色との関連を理解できるようにする。

## 学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫を取り入れた単元構想

社会的な事象への興味・関心をもてるように工夫しました。つかむ過程では、課題意識が高まる資料を提示することで、交通網の広がりや産業の発達についてのグラフ・図を比較しながら交通網と産業の関わりにつけさせます。追究する過程では、収集した情報を整理しながら、交通網の広がりや地域に暮らす人々の生活や工業、農業、観光業を変化・発展させたことを理解させます。まとめる過程では、概念等に関する知識を活用し、群馬県の事例を取り上げ、交通網の結び付きと地理的特色が関連していることに気付けるように構成しました。

過程	主な学習活動	課題意識が高まる資料提示												
つかむ (1)	<p><b>1. 単元の課題を把握する。</b></p> <p>○「高松市から自動車を利用した場合における3時間で到達できる本州側の範囲」の資料を読み取る。</p> <p>○産業や人口に関する資料から考える。</p> <p><b>地域の特色の変化は、交通網とどのように関わっているのだろうか。</b></p>	<p>同じ場所における変化が分かる資料を提示し、課題意識を高める。</p>												
														
追究する (5)	<p><b>2. 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する。</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="background-color: #27ae60; color: white;">＜交通網との関わり＞</th> <th style="background-color: #27ae60; color: white;">＜生徒の意識＞</th> </tr> <tr> <td>○気候や地形によって形作られる地域を知ろう。</td> <td>山陰・瀬戸内・南四国の三つの地域を形作っているのだな。</td> </tr> <tr> <td>○地域をどのように変えたのか。</td> <td>いろいろな地域に多くの人々が移動するようになったのだな。</td> </tr> <tr> <td>○工業をどのように変えたのか。</td> <td>水運のおかげで、多くの工場が移転してきたのだな。</td> </tr> <tr> <td>○農業をどのように変えたのか。</td> <td>交通網が整備されて、農業が活発になったのだな。</td> </tr> <tr> <td>○過疎化する地域をどのように変えたのか。</td> <td>観光産業が活発になり、多くの人々が訪れるようになったのだな。</td> </tr> </table>	＜交通網との関わり＞	＜生徒の意識＞	○気候や地形によって形作られる地域を知ろう。	山陰・瀬戸内・南四国の三つの地域を形作っているのだな。	○地域をどのように変えたのか。	いろいろな地域に多くの人々が移動するようになったのだな。	○工業をどのように変えたのか。	水運のおかげで、多くの工場が移転してきたのだな。	○農業をどのように変えたのか。	交通網が整備されて、農業が活発になったのだな。	○過疎化する地域をどのように変えたのか。	観光産業が活発になり、多くの人々が訪れるようになったのだな。	<p>興味・関心をもたせる映像資料を活用することで主体的に学ぶ意欲を高める。</p> <p>橋の下に水道が通っているのに驚きました。 (生徒の振り返りより)</p>
	＜交通網との関わり＞	＜生徒の意識＞												
	○気候や地形によって形作られる地域を知ろう。	山陰・瀬戸内・南四国の三つの地域を形作っているのだな。												
	○地域をどのように変えたのか。	いろいろな地域に多くの人々が移動するようになったのだな。												
	○工業をどのように変えたのか。	水運のおかげで、多くの工場が移転してきたのだな。												
○農業をどのように変えたのか。	交通網が整備されて、農業が活発になったのだな。													
○過疎化する地域をどのように変えたのか。	観光産業が活発になり、多くの人々が訪れるようになったのだな。													
	<p style="text-align: center;">考えたことを話し合う工夫</p> <p>新たな側面や立場から考えられる視点を共有するために話し合い活動の内容をホワイトボードで掲示し、情報の共有を図る。</p>													
	<p style="text-align: center;">地域人材の活用</p> <p>群馬県庁の「出前なんでも講座」を活用し、専門的な見地から、交通網の発達と産業の変化について他の地域でも同様の特色があることに気付かせ、知識の一般化を図る。</p>													
まとめる (1)	<p><b>3. 単元の課題についてまとめる。</b></p> <p>○他の地域について考えてみよう。</p> <p><b>中国・四国地方で学んだことは群馬県にも当てはまるのが分かった。</b></p> <p>＜単元のまとめ＞ 交通網が整備されることによって、その地域の人口、産業、生活が大きく変化している。そのことは、中国・四国地方だけでなく、群馬県についても言える。 (学級全体)</p>	<p>【社会人講師による授業の様子】</p>  <p>他の県についても調べたいな。自動車以外の交通網の整備についても調べてみたいな。 (個人)</p>												
		<p style="text-align: center;">単元全体の振り返り</p> <p>交通網の整備と地理的特色の関連性について生徒の発言を基にまとめる。</p>												

指導例：『中国・四国地方』（第2学年 第1時）

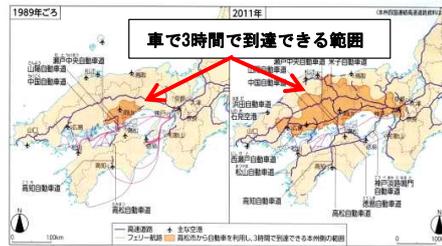
1 本時のめあてをつかむ。

○めあてを確認する。

T：二つの図を比較して考えましょう。

S：範囲が広がりました。

S：橋ができたからだと思います。



めあて 中国・四国地方と他地域とのつながりを示す資料を基にして、単元の課題を立てよう。

2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。

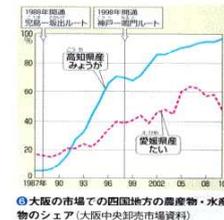
○資料を比較して考える。

T：四つの資料から考えましょう。

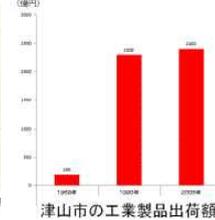
S：資料2から津山市の工業出荷額が30年で約10倍にまで増えています。

S：資料4からは、香川県の離島において人口減少が進んでいることが分かります。

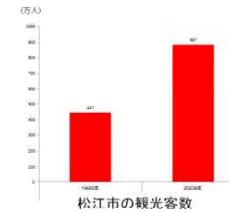
資料1



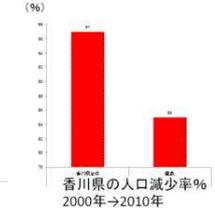
資料2



資料3



資料4



3 学級全体で、社会的事象について調べたいことの共有化や焦点化を図る。

○気付きや疑問点、調べたいことをグループ・学級全体で話し合う。

T：調べたいことを話し合しましょう。

S：本州四国連絡橋や高速道路ができたことによって、人々の生活が変化していることを調べてみたいです。

・本州四国連絡橋や高速道路ができたことによる人々の生活の変化  
・津山市はどのようにして工業製品の出荷額を増やしたのか  
(ホワイトボードの記述より)



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○生徒の発言を基に、共通して解決する単元の課題を言葉にまとめる。

T：キーワードを基にして、単元の課題を立てましょう。

S：地域内や他地域と結び付ける橋や高速道路は、産業をどのように変化させたのだろう。

【単元の課題】地域の特色の変化は、交通網とどのように関わっているのだろうか。

○習得した知識や友達などの意見を記述し、本時の振り返りを行う。  
☆なぜ交通網が地域を変化させていくのかを調べていきたいです。

指導のポイント

めあての設定

○社会的事象との出会いの場面で生徒の課題意識を高めるために、効果的な資料を精選するとともに、既存の知識を問い掛ける。

課題意識が高まる資料

○複数の資料を比較・関連付けながら観察させることで、わずか20年足らずで中国・四国地方が大きく変化したことに視点が当てられるようにする。

話し合いの工夫

○生徒の感想や調べたいことについての発言をホワイトボードを活用して全体に掲示し、共有することで生徒自身の課題意識に基づく単元の課題づくりができるようにする。

単元の課題づくりの工夫

○キーワードを基にして単元の課題づくりを行うことで、容易に課題を作りやすくする。

本時の振り返りの視点

○習得した知識や参考になった友達の意見、次時に調べてみたいことを記述させることで、本時の振り返りをさせる。

指導例：『中国・四国地方』（第2学年 第3時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○学習計画を振り返り、中国・四国地方の特色と交通網との関わりを追究することを確認する。

T：前回までに学習した中国・四国地方の特色は、どのようなものでしょうか。

S：山陰・瀬戸内・南四国の三つの地域に分かれることを学びました。

T：三つに分かれるこの地域が交通網の整備によってどう変わっていくのか考えましょう。

めあての設定

○学習計画や前時までの学習を振り返ることで、本時の解決方法について見通しをもたせる。

めあて 人々の生活は本州四国連絡橋や高速道路の整備によってどのように変化したのだろう。

○2枚の地図を再比較する。

T：1時間目で比較した地図です。この地図から分かったことにはどのようなものがありましたか。

S：自動車で行ける範囲が広がったことです。

S：高速道路が増えたことです。



課題意識が高まる資料

○興味を引き付け、課題解決に適切な資料を提示することで、円滑な課題解決へつなげていく。

2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。

○本州四国連絡橋や高速道路の整備によって生じたメリット・デメリットを調べる。

T：教科書・資料集から本州四国連絡橋や高速道路の整備後のメリット・デメリットを調べよう。

S：通勤・通学時間が短くなったと思う。

S：フェリーの時間を気にせずに行動できるようになった。

交通網が発達したことによるメリットとデメリットは何か

(ワークシート記述より)

考えたことを話し合う工夫

○生徒の疑問に基づいた学習課題を設定し、考察させる。そして、ホワイトボードを活用して簡潔にまとめさせる。さらに、掲示内容の違いがより明確になるように、メリット・デメリットに分けて掲示させる。

3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。

○整備後のメリット・デメリットについて様々な観点から意見交換する。

T：メリット・デメリットについて話し合いましょう。

S：観光業が盛んになったと思う。

S：自動車を持たない高齢者にとって生活が大変になったと思います。

1班 メリット  
橋ができたことにより、2016年は1日に約2万2000台が橋を使っていた。

5班 デメリット  
自動車を持っていない高齢者などは移動をフェリーに頼っていたため、生活が不便になってしまった。

(ホワイトボードの記述より)

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○板書を参考にして、単元の課題や本時のめあてに対する自分の考えをまとめ、振り返る。

T：単元の課題や本時のめあてと今日の授業の内容を振り返り、自分の考えをまとめよう。

☆本州四国連絡橋により、人々の生活が大きく変化したことを知りました。その変化にはデメリットもあることを知りました。デメリットの影響を受けた人たちの生活について、もっと知りたいです。

次時につなげる振り返りの視点

○「印象に残ったところ」「更に調べてみたいところ」「理解が不十分なところや、質問・疑問・感想」などの視点を示し、本質的な理解につなげていく。

指導例：『中国・四国地方』（第2学年 第7時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○単元の課題や学習計画を確認するとともに、追究する過程の各単位時間で解決してきたことを振り返る。

T：前回までに交通網の発達によって中国・四国地方がどのように変わってきたか振り返りましょう。

S：交通網の発達によって、工業や農業、商工業が盛んになってきました。

T：群馬県の交通網の発達と産業の変化について学び、単元の課題に対する自分の考えをまとめていきましょう。

めあて 交通網の発展は、地域の産業や人口をどのように変化させたのかをまとめよう。

本時の見通しをもたせる

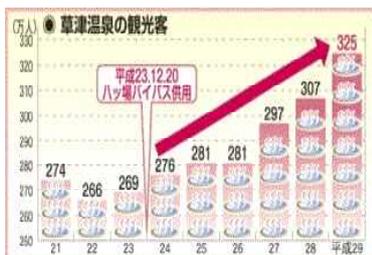
○本時の見通しをもつために群馬県の事例を通して、単元の結論を導く時間であることを確認する。

2 一人一人が、学習してきたことを基に単元の課題に対する結論を考える。

○群馬県庁の道路施策担当者から、群馬県の交通と産業・生活の変化についての説明を聞く。

T：国道120号線における椎坂峠トンネルの開通によって、片品地域のスキー客や老神温泉の観光客が増えたのです。

S：ハッ場バイパスの開通によって、草津温泉の観光客も増えているのだ。



地域人材の活用

○群馬県庁の「出前なんでも講座」を活用し、群馬県の道路施策から、交通の発達と産業の変化について他の地域でも同様の特色があることに気付かせ、知識の一般化を図る。

3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。

○交通網の発展と地域の変化について話し合う。

T：一人一人がもった感想をグループで発表し合い、クラス全体で共有しましょう。

プラス面	マイナス面
・道路が多く通っている	・田舎、過疎地域
・事件や事故が少ない	・少子高齢化
・田畑に恵まれている	・観光客が少ない

(ホワイトボードの記述より)

S：群馬県でも、交通の発達が産業と大きく関わっているのだね。

○単元の課題における自分の結論を記述・発表させて、学級全体に共有させる。

T：単元の課題についての結論を発表してください。

S：地域を結び付ける交通網は、地域の産業に大きな影響を与えています。だから、これからの学習で交通網に着目して、地域を見ていくことが大切だと思います。

自ら考えたことを話し合う工夫

○グループで一人一人がもった感想を交流させ、交通網の発展が地域の産業を変化させることができるようにさせる。

単元の課題に対する結論づくりの工夫

○単元の課題についての結論をグループや学級全体で伝え合う活動を通して結論を導く。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○発表内容を基に「分かったこと」「気付いたこと」「思ったこと」を考える。

T：みなさんの発言した内容からどのようなことが分かりましたか。

S：自動車以外の交通網の整備についても調べてみたい。

☆交通網の発展と地域の産業について学んだことを今後の地理の授業で生かしていきたいです。

単元全体の振り返り

○交通網の整備と地理的特色の関連性について、小グループや学級全体で話し合い活動を用いて単元のまとめを導く。

# 社会科学習指導案

令和元年10月 第2学年 指導者 遠峯 健一

## I 単元名 日本<sup>の</sup>諸地域「中国・四国地方」

## II 学習指導要領上の位置付け

### (3) 日本<sup>の</sup>諸地域

交通や通信を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) 交通や通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 日本<sup>の</sup>諸地域において、交通や通信を中核とした事象の成立条件を地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

## III 目 標

中国・四国地方の地域的特色について、交通網の整備・拡大と産業・生活の変化についての資料を読み取り、地域的特色の変容について考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 中国・四国地方の地形や気候などの地域的特色や人々の生活や産業と、交通網の整備との関わりについて理解し活用している。(知識及び技能)

イ 中国・四国地方の生活や産業などの地域的特色を地図や資料から読み取り、交通網の整備と関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 中国・四国地方に関心をもち、その地域的特色を交通網の整備と関連付けて意欲的に追究しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／7）

- ねらい 交通機関によって結び付けられた中国地方と四国地方に起きた産業や人口の変化を読み取る活動を通して、地域的特色の変化や地域の課題を追究する意欲をもてるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○中国・四国地方の二つの資料を提示し、違いを見付けるように促す。		
めあて 中国・四国地方と他地域とのつながりを示す資料を基に、単元の課題を立てよう。			
○本時が単元の課題を設定する時間であることを確認させる。			
2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（20分）	○高松市から自動車を利用した際の年代の異なる二つの資料を提示し、その変化を読み取らせる。		
○本州四国連絡橋について地図を活用してイメージをつかませる。			
○四つの資料を提示し、地図で都市を確認しながら考えたことをワークシートに記入させる。			
3 学級全体で、社会的事象についての調べたいことの共有や焦点化を図る。（15分）	○グループで一人一人の気づきや考えを発表させる。		
○グループで疑問点や調べたいことを整理させ、学級全体に発表させる。			
○発表した意見を基に、キーワードを学級全体で確認させ、産業の発展や人口の変化が交通機関と関連していることをまとめさせる。			
交通網の発展によって産業や人口が変化したことに興味をもち、疑問や調べたいことを考え、表現している。 < 発言・ノート（1） >			
4 本時のまとめをして、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）	○出されたキーワードを基に、単元の課題をワークシートに記述させる。		
○ワークシートに記述した考えを発表させる。			
○生徒の発言を基に単元の課題をまとめ、板書する。			
【単元の課題】 地域的特色の変化は、交通網とどのように関わっているのだろうか。			
○本時の振り返りとして、初めて知ったことや参考になった意見を記述・発言するように促す。 ☆なぜ交通網が地域を変化させていくのかを調べていきたいです。			

## V 本時の展開（3／7）

- ねらい 瀬戸大橋開通前後の自動車通行量の変化を読み取る活動を通して、交通網の整備が四国地方に暮らす人々の生活を大きく変化させてきたことを理解できるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（10分）	○地図を活用して高松市の位置を確認させる。 ○高松市から車で3時間で行ける範囲を示した1989年と2011年の2枚の地図を再掲示し、陸上交通の整備が四国地方に与えた影響を考えさせる。		
めあて 人々の生活は本州四国連絡橋や高速道路の整備によってどのように変化したのだろうか。			
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（15分）	○人々の生活は交通網の整備によってどのように変化したのか、メリット・デメリットの観点から教科書・資料集等を活用して調べるように促す。		
3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（20分）	○本州四国連絡橋や高速道路の整備によって、人々の生活はどのように変化したのかについて、一人一人が考えたメリット・デメリットをグループ内で発表させる。 ○グループで出た意見をホワイトボードにまとめ、学級全体で共有させる。 ○四国地方に暮らす人々にとって、本州四国連絡橋等の陸上交通の発達はどのような意味があるかを考えさせる。		
本州四国連絡橋の開通をはじめとした陸上交通の発達が四国地方に暮らす人々の生活を変えたり、産業を変化させたりしていることについて理解し、表現している。 <発言・ノート（1）>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（5分）	○考察したことを基に、交通機関の発達が四国地方に暮らす人々にどのような影響を与えたのかまとめを記述させるとともに、板書をして共有をさせる。 ○本時の振り返りとして、全体で共有したことを受け、自分の意見を見直させ記述させる。 ☆本州四国連絡橋により、人々の生活が大きく変化したことを知りました。その変化にはメリットもたくさんあるけれど、デメリットもあることを知りました。デメリットの影響を受けた人たちの生活はどのように変わったのか、もっと知りたいです。		

## V 本時の展開（7/7）

- ねらい 中国・四国地方で学んだ交通網の整備と生活・産業の変化という考え方を基にして、群馬県の道路施策を担当しているゲストティーチャーが紹介する群馬県の生活・産業の移り変わりについての事例を考察する活動を通して、他の地域の学習においても、交通網の結び付きによって生活や産業が変化していくことを理解できるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分）	○単元の課題や学習してきた前時までの内容を確認するように促す。		
めあて 交通網の発展は、地域の産業や人口をどのように変化させたのかをまとめよう。			
○群馬県の道路施策を担当しているゲストティーチャーの紹介をする。			
2 一人一人が、学習してきたことを基に単元の課題に対する結論を考える。（30分）	○群馬県の事例について聞き、交通網の発展によって産業や生活が変化したことについてワークシートに考えを記述させる。		
-----			
3 学級全体で、単元の課題に対する結論を話し合う。（10分）	○一人一人がもった感想をグループで発表させる。 ○グループ内で交通網の発展と地域の変化について考え気付いたことを話し合い、ホワイトボードにまとめ発表させる。 ○中国・四国地方の学習を基に、群馬県内で起きている交通網の発達と産業の変化について、考え、発表させる。		
地域の発展には交通網の発達が大きく関わっていることについて考え、表現している。 <発言・ノート（2）>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（5分）	○生徒の発表内容を基に、単元のまとめを板書する。 ○単元の課題に対する結論を基に、単元全体の振り返りをするよう促す。 ☆交通網の発展と地域の産業について学んだことを今後の地理の授業で生かしていきたいです。		

指導計画 社会科 第2学年 単元名 日本の諸地域「中国・四国地方」(全7時間計画)

目標	<p>中国・四国地方の地域的特色について、交通網の整備・拡大と産業・生活の変化についての資料を読み取り、地域的特色の変容について考える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 中国・四国地方の地形や気候などの地域的特色や人々の生活や産業と、交通網の整備との関わりについて理解し活用している。(知識及び技能)</p> <p>イ 中国・四国地方の生活や産業などの地域的特色を地図や資料から読み取り、交通網の整備と関連付けて考察し、自分の言葉でまとめている。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 中国・四国地方に関心を持ち、その地域的特色を交通網の整備と関連付けて意欲的に追究しようとしている。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結び付きに関心を持ち、それを意欲的に追究しようとしている。</p> <p>(2) 他地域との結び付きを、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に追究し、それにとまなう具体的な中国・四国地方の産業の変容を、図表などを用いて分かりやすく表現している。</p> <p>(3) 地図や資料から、中国・四国地方の交通網の発展による結び付きを具体的に捉えている。</p> <p>(4) 他地域との結び付きに注目した視点から、中国・四国地方の地域的特色を的確に捉え、交通網の発展による産業や生活の変化を理解している。</p>		
過程	<p>時間</p> <p>○ねらい</p> <p>めあて</p>	☆振り返り (意識)	◇評価項目
つかむ	<p>1</p> <p>○交通網によって結び付いた中国地方と四国地方に起きた産業や人口の変化を読み取る活動を通して、地域的特色の変化や地域の課題を追究するという意欲をもてるようにする。</p> <p>中国・四国地方と他地域とのつながりを示す資料を基に、単元の課題を立てよう。</p> <p>単元の課題 地域的特色の変化は、交通網とどのように関わっているのだろうか。</p>	☆なぜ交通網が地域を変化させていくのかを調べていきたいです。	◇交通網の発展によって産業や人口が変化したことに興味を持ち、疑問や調べたいことを考え、表現している。 <発言・ノート(1)>
追究する	<p>1</p> <p>○三つの海と二つの山地にまたがる中国・四国地方の自然環境を調べ、季節風によって気候的な違いが生まれ、気候的な違いが地域的なまとまりを形作ることを理解できるようにする。</p> <p>中国・四国地方は、自然環境によってどのような地域的なまとまりができていたのだろうか。</p>	☆中国・四国地方には、中国山地や四国山地があり、それぞれの山地を吹き抜ける季節風の影響によって、山陰・瀬戸内・南四国の三つの気候的特色・地域的特色を形作っているのだな。	◇中国・四国地方にある山地と山地を吹き抜ける季節風などの自然環境に関心を持ち、自然環境と気候や地域的なつながりとの関連を意欲的に追究しようとしている。 <発言・ノート(4)>
	<p>1</p> <p>○瀬戸大橋開通前後の自動車通行量の変化を読み取る活動を通して、交通網の整備が四国に暮らす人々の生活を大きく変化させてきたことを理解できるようにする。</p> <p>人々の生活は本州四国連絡橋や高速道路の整備によってどのように変化したのだろうか。</p>	☆本州四国連絡橋により、人々の生活が大きく変化したことを知りました。その変化にはメリットもたくさんあるけれど、デメリットもあることを知りました。デメリットの影響を受けた人たちの生活はどのようになったのか、もっと知りたいです。	◇本州四国連絡橋の開通をはじめとした陸上交通の発達で四国地方に暮らす人々の生活を変えたり、産業を変えたりしていることについて理解し、表現している。 <発言・ノート(4)>
	<p>1</p> <p>○瀬戸内地域にある工場の立地場所や出荷額の内訳などの図表を調べる活動を通して、海運が工業や物流を大きく変化させてきたことを理解できるようにする。</p> <p>瀬戸内海の水運が瀬戸内の工業をどのように変化したのだろうか。</p>	☆瀬戸内地域にある工場立地の図表から、瀬戸内工業地域の発展の裏には、瀬戸内海の水運が関係していて、他地域から工場が移転してきたことや工場の海外進出が進んだことが分かった。	◇瀬戸内工業地域の立地や出荷額の内訳などの図表から瀬戸内海の水運との関係を読み取り、整理している。 <発言・ノート(3)>
	<p>1</p> <p>○東京へ出荷されるなすの量と価格の関係を調べる活動を通して、交通網の整備が南四国と山陰の農業の発展に影響を与えてきたことを理解できるようにする。</p>	☆瀬戸内の柑橘栽培や山陽の果物栽培、南四国の促成栽培等の農業生産が活発化してきた背景には、山陽・中国自動車道、本州四国連絡	◇高知平野の農業に関する写真・地図・グラフ等の資料から、高速道路などの交通網の整備と農業生産物の変化の関係につい

	<p>交通網の整備が進んだことで瀬戸内と南四国の農業は、どのように変化したのだろうか。</p>	<p>橋などの交通網の整備が深く関わっていたのだな。ということは、他の産業にも交通機関と産業の発展の関係があるかも知れないので、そこを調べてみたいな。</p>	<p>て意欲的に追究しようとしている。          &lt;発言・ノート(4)&gt;</p>
1	<p>○山陰地方を訪れる観光客の変化を読み取る活動を通して、交通網の整備が観光業の発展に影響を与えてきたことを理解できるようにする。</p> <p>交通網の整備が進んだことで、過疎化が進む山陰ではどのような変化が生じてきたのだろうか。</p>	<p>☆交通網の発達が過疎を引き起こしてしまった。逆に、過疎を解決するために行われている地域おこし・観光産業の活性化についても交通網の整備が深く関わっているのだな。</p>	<p>◇山陰地方への観光客が増加している理由を、写真やグラフ、教科書本文から読み取り、表現している。          &lt;発言・ノート(3)&gt;</p>
まとめ	<p>1 ○中国・四国地方で学んだ交通網の整備と生活・産業の変化という考え方を基にして、ゲストティーチャーが紹介する群馬県的生活・産業の移り変わりについての事例を考察する活動を通して、他の地域の学習においても、交通網の結びつきによって生活や産業が変化していくことを理解できるようにする。</p> <p>交通網の発展は、地域の産業や人口をどのように変化したのかをまとめよう。</p>	<p>☆交通網の発展と地域の産業について学んだことを今後の地理の授業で生かしていきたいです。</p>	<p>◇地域の発展には交通網の発達が大きく関わっていることについて考え、表現している。          &lt;発言・ノート(2)&gt;</p>